

令和5年度取組状況

ものづくり工学科

AIスマート工学コース・生産システム工学コース

准教授 佐藤 孝治

取 組 状 況	
教育	1. 電子工学の講義に図解を多用し、講義前に前回の確認テストを導入することで学生の理解度向上に寄与した。 2. 情報システム基礎(通年)を開発した。ITパスポートレベルの知識習得を目標とし、情報システムにかかわる知識を網羅的に解説した。また、前・後期1回ずつ、学生が自ら調査しプレゼンテーションを行う演習を行った。その結果、情報システムへの理解を深めるとともにチーム活動や資料作成、プレゼンテーション力の向上に寄与した。 3. ゼミ、卒業研究では社会課題を解決する技術やプロダクトをテーマとし取り組み、ビジネス創造コンテストへの応募を実施した。 4. 2年生の担任として学生の生活が充実するようにきめ細かく丁寧に指導を実施した。
研究	1. コースの実験実習用環境の構築 現在、製造業では仮想ワークステーション上でCADやCAEを使用したデジタルものづくりが主流となっている。本コースにおいてもデジタルものづくりを修得するべく、製造業で実現している環境に準じた実習用環境を構築した。具体的には仮想ワークステーションサーバや高速ネットワーク環境を設計構築し、同時に15人がCADソフトを利用可能とした。 2. AI開発環境の構築 上記と同時に、実験実習や卒業研究などで利用可能な深層学習の環境を整えた。
社会貢献	1. ものづくり・科学教室、体験入学 ・中学生を対象に Raspberry Pi の基礎講座を開講した 2. 産学連携協定の締結 ・京セラコミュニケーションシステム株式会社と産学連携協定を締結した